

営農技術情報

－畑作（馬鈴しょ）－

平成30年 7月 6日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～無人ヘリ利用も併せて疫病の防除を実施しましょう！～

6月末からの長雨により、防除が困難な状況となっておりますが、本年の「FLABS」による疫病の危険期到達日は6月29日で、予測初発日は7月8日から19日となります（萌芽期は6月10日）。

疫病が発生しやすい気象条件が続いていますので、天候回復後に、無人ヘリによる防除の検討も併せて、防除の実施をお願い致します。

今後も防除のためにほ場に入りづらい状況が続くことも予想されますので、できるだけ効果の高い薬剤を選定するとともに、登録の範囲内で高濃度の散布を行うようにして下さい。

また、気温の上昇にともない、軟腐病も発生しやすくなりますので、併せて防除を行うようにしましょう。

【疫病の防除薬剤例】（H30.7.5日現在の登録内容）

防除方法	薬剤名	使用倍率		使用時期	使用回数	浸透性	効果
			ダブル インターバル				
通常	リライアブルフロアブル	800～1000倍	800倍	7日前	3回	○○	予治
	ゾーベックエニケード	5000倍	—	7日前	2回	○	予治
	ホライズンドライフロアブル	1000～2500倍	—	14日前	4回	×○	予治
	プロポーズ顆粒水和剤	750～1000倍	750倍	7日前	3回	△×	予治
	フロンサイドSC	1000～2000倍	1500倍	14日前	4回	×	予
無人ヘリ	ホライズンドライフロアブル	40倍 (3.2 μ g/10a)	—	14日前	4回	×○	予治

※1 「リライアブルフロアブル」、「プロポーズ顆粒水和剤」、「フロンサイドSC」は塊茎腐敗にも効果があります。

※2 「ホライズンドライフロアブル」、「プロポーズ顆粒水和剤」、「フロンサイドSC」は夏疫病にも効果があります。

農薬安全使用 ～農薬を使うときの留意ポイント！～

①農薬使用基準を守りましょう

・必ずラベルを読み、使用量・時期・回数を確認し、適正に使用しましょう。

②飛散防止に努めましょう

- ・風の強さや風向きに気をつけましょう。
- ・適切なノズル、圧力で散布しましょう。
- ・散布の方向や対象作物との距離に注意しましょう。
- ・散布量を守りましょう

③散布後は器具をよく洗いましょう。

④使用した農薬は全て生産履歴に記帳しましょう